

拠出金名: インターネット・ガバナンス・フォーラム拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				10,000千円	
国際機関等名	インターネット・ガバナンス・フォーラム (英文名称・略称) Internet Governance Forum (IGF)				
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)	国連専門機関	その他
所管官庁担当局課名	総務省情報通信国際戦略局国際政策課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成19年度	10,000	94		1米ドル = 107円	0
平成18年度					
平成17年度					
当該拠出金の目的・用途等		IGF事務局の活動費			
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2007年度会計報告)	
	国 名	金 額 (千米ドル)	拠出率(注1) (%)		
1位	EU	164	27.6	当該年度の収入 838,660米ドル	
2位	スイス	150	25.3	当該年度の支出 494,678米ドル	
3位	ICANN	100	16.9	次年度への繰越 343,982米ドル	
4位	イギリス	46	7.8	会計検査機関名	
5位	NRO	45	7.6 (注2)	国連会計検査委員会 (UN Board of Auditors)	
日本は2008年1月に第1回を拠出(2007年の拠出実績なし)。				(現在の構成員の出身国: 南ア、仏、中)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
IGFは2005年の世界情報社会サミット(W SIS)第2フェーズの結果をふまえ、インターネットに関連する公共政策問題について、各国政府・企業・NGOなど多様な関係者が集い議論を行う場として、国連により設置された。インターネットの安定的な運用を脅かすさまざまな問題への対処等について議論する、当該分野で世界最大規模の会合であり、同会合の結果がインターネット関連施策の国際的論調に与える影響は大きく、この場において我が国の利害関係を反映させる基盤を作っていくことは大変重要。					

「合理化、機能強化のための改革」以下の項目については「国際連合社会問題基金(国際連合障害者基金)」の頁(24ページ)参照

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) 当該機関は2007年度に拠出金の二重支払があり、2008年度会計で一部返金されている。返金分を除いた2007年拠出額は25千ドルで6位。

(参考) 本フォーラムの活動は、国連経済社会局が管理されるマルチ・ドナー基金によって賄われている。